

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	一般小売店〔家電〕 （経営者）	・テレビ等のエコポイント制度対象製品の動きがますます良くなる。
		テーマパーク（職員）	・11月からのイルミネーション営業も開始されることから、新規展示物の好況が続く。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・鉄道会社と観光業界の合同企画が始まり、3か月間当地区の観光にスポットが当たるので、期待している。
		コンビニ（経営者）	・近くのホテルの新規開業と、2か月先のカラオケ店オープンの予定があるので、この影響によりやや良くなる。
		コンビニ（経営者）	・年末に向かって売り込める商材が出てくるため、その分景気がやや良くなる。
		家電量販店（店長）	・デジタル商品を筆頭に順調に推移する。
		乗用車販売店（経営者）	・ハイブリッドの新車種が発売されるので良くなる。
		一般レストラン（経営者）	・客単価に変化は見られないものの、個人的な予約客が増えている分、やや良くなる。
		観光型ホテル（営業担当）	・紅葉の本格シーズンを迎え、大型の観光キャンペーンも始まることから、客の増加に期待が持てる。
		都市型ホテル（スタッフ）	・将来的には景気が良くなるとは考えられない厳しい状態が続いているが、2～3か月先はちょうど忘年会、新年会のシーズンに当たるので、景気は悪いながらも少しは動く。
		通信会社（販売担当）	・冬季ボーナスは夏季ボーナスと比較して減少幅が少ないと思われることから、多少の上向きが考えられる。
	その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・2～3か月前と比べて来客数は上向きに転じており、前年度比でも3%くらいの上昇である。また、月極めの駐車契約も前年度比で6%くらい良くなっている。回数券の販売など現金収入に関しても良くなっているため、やや良くなる。	
	変わらない	一般小売店〔精肉〕 （経営者）	・今月は運動会、敬老会、お彼岸等の行事が続いていたので、出費がかさんでおり、秋口に向かって財布のひもが締められる。
一般小売店〔家電〕 （経営者）		・消費者は衝動買いに走らず慎重で、今年は寒波になりそうだとと言われても、その時にならないと購入には至らない。先の不透明な商売が続くそうである。	
百貨店（営業担当）		・客の様子を見てみると、依然慎重な買い方になっており、余計なものは買わず、よく吟味して買っている。	
百貨店（販売促進担当）		・各商品群とも、前年比のマイナス幅は徐々に小さくなりつつあるが、先行きに対する不安は払しょくされておらず、慎重な購買行動は継続する。	
スーパー（総務担当）		・10月からたばこが値上がりするため、家計に対する影響がある。食品あるいは、衣料品についても、天候次第だと思われるので、楽観視はできない。	
スーパー（統括）		・円高やデフレ基調が長期化する中で、企業は根本的な体質改善による対応が必要である。現在当社でも取組中ではあるが、現況に追い着けず、まだまだ先行き不透明である。	
衣料品専門店（店長）		・冬のボーナスシーズンではあるが、業績が好調な企業はごくわずかであるために、消費者の購買力は厳しい状況が続く。	
乗用車販売店（販売担当）		・今後、年末に掛けても、基本的に安い車を売るというこのままの状況がずっと続くと思うので、当分の間、良くなる要素はなく、変わらない。	
タクシー運転手		・円高の環境下、製造業の客の減少は否めない。しかし高齢化社会への急速な変化によって、客が増加しており、景気の上昇と高齢化による増加とで相殺となる。	
タクシー（経営者）		・夜の動きが悪いので、この先も現状同様、良くない。	
通信会社（経営者）		・ここまで不況が定着すると、2、3か月で景気がどうこうということはない。	
通信会社（局長）		・客の節約傾向は継続している上、個人消費を押し上げる好材料が見当たらない。	
通信会社（総務担当）		・依然として個人消費が低迷しており、節約志向が進んでいる。	
通信会社（営業担当）	・当面の間は、夏場の出費分を取り戻すべく節約傾向が続き、消費が横ばい状態になる。		
遊園地（職員）	・一般家庭の所得減少によるレジャー支出抑制の影響は依然大きいものと予想され、今後についても楽観視はできない。		

	ゴルフ場（支配人）	・例年だと、その月に入ってから予約が非常に伸びてくることがあるが、ここ最近はそのような予約が伸びてこない。地場産業と建設業界の不振がこの状況を生んでいる。
	その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	・当店は新しい機械の導入や、既存機械のバージョンアップなどの予定も今のところない。現状のなかで創意工夫をしながらやっていただけなので、店も客も、大きな変化は考えにくい。
	その他サービス [清掃] (所長)	・量販店やスーパー等が毎週定期的に目玉商品等の広告を出して客集めの努力を行っているが、円高等の状況もあり、景気回復の兆しが見えないため、当分同じ状況が続く。
	設計事務所 (所長)	・来月から下期スタートとなるので、ダイレクトメール発送などを利用し、集客を狙う。先月の受注件数は達成しているので、2～3か月安定するよう頑張りたい。
	住宅販売会社 (経営者)	・物件は値下げをしているが、客が買い控えをしている様子なので、景気は変わらないか、やや悪くなる。
	住宅販売会社 (従業員)	・分譲地購入見込み客の物件選別は依然として厳しく、よほど気に入った物件でなければ成約には至らない状況が続くと見込まれる。
やや悪くなる	一般小売店 [青果] (店長)	・景気が底冷えしており、野菜の価格が急激に高騰しているので、良くなると思えない。
	百貨店 (総務担当)	・天候が不順なので、秋物商品の動きが心配である。10月には冬物が一部入荷するが、暖冬になれば秋冬物の販売が厳しくなりそうである。食料品でカバーするために、新商品の導入を図り、バラのギフト品を増やそうと考えている。また、陶器のギフトが落ち込み、単品セールで活性化を行っているが、やはり固くて壊れない物は思うように動かない。
	百貨店 (販売促進担当)	・引き続き円高と中国との問題が今後の懸念材料として残っており、市場にとっての好材料が見当たらない。外需に依存する企業体質が主流の中では、今後の景気はやや悪くなる。
	スーパー (経営者)	・完全な店舗過剰状況が続く。
	スーパー (総務担当)	・店舗周辺は工場地帯のため、円高による輸出関連の落ち込みの影響や株安の影響が出る。
	スーパー (経営企画担当)	・10月には、更にもう一店舗競合店が出店するので、その影響が懸念される。
	コンビニ (経営者)	・たばこの売上が下がると思われるので、どれだけカバーできるかが腕の見せ所である。
	コンビニ (経営者)	・たばこの値上げで来客数がかかり減る。
	コンビニ (経営者)	・たばこ値上げの問題で、買置きが発生しているはずなので、その分の需要が落ち、それに伴ってたばこと一緒に買上げしていた客の来店も落ちてしまう。
	コンビニ (経営者)	・気温の低下によるし好品等の購買意欲の減退や、たばこの駆け込み購買後の反動により、売上は低下する。
	コンビニ (店長)	・今回のたばこの値上げで駆け込み需要などがあるものの、たばこを止める人も出てくるので、今後客数は減り、極端に悪くなることはないだろうが、いくらかは悪くなる。
	衣料品専門店 (統括)	・祭には参加したいが、新しい衣装はなかなか買えないという客が増えており、非常に経済が冷え込んでいると感じている。例年の動きからすると、これから2～3か月先についても良い状況にはならない。
	衣料品専門店 (販売担当)	・財布のひもが固い上に、安心できるような要素もなく、長期予想では真夏から真冬という予報が出ているので、客の様子見もそのまま続く可能性があり、幾分下り坂である。
	乗用車販売店 (従業員)	・施策終了で反動が大きく、見通しは厳しい。
	乗用車販売店 (管理担当)	・エコカー補助金等の効果により駆け込み需要が増えたが、今後はこれに変わる特典をどのようにPRするかが課題である。消費者の購買意欲をどうにか回復させ、また、円高傾向を早く改善しないと、大企業の収益、財務状況が悪化し、リストラ等が増え、雇用も厳しくなる。
	乗用車販売店 (営業担当)	・ますます厳しくなる地方の自動車業界では、既存客を大事にしなが、いかに新規客を呼び込めるかが重要になる。
	高級レストラン (店長)	・消費者の節約志向、低価格志向は強く、改善の見込みはない。
一般レストラン (経営者)	・おそらく前年比で来客数はそれほど変わらないが、売上は上がらない。	
一般レストラン (経営者)	・年末需要まで9月の傾向が続く。	

		一般レストラン（経営者）	・他の業種の人の話を聞いても、建築、土木関係の客は仕事 が少なく大変な状況で、販売業や流通業でも物が売れずに 困っていると聞いている。
		都市型ホテル（経営者）	・自動車産業、工業の町では、これから円高と中国依存によ り更に空洞化する。
		都市型ホテル（支配人）	・団体等の宿泊、宴会等の予約率が前年より2割程度、落ち ており、景気の様子見で予約を控えていることがうかがえ る。
		都市型ホテル（スタッフ）	・10月と12月に新規ホテルがまた開業することに伴い、市内 のホテルでも格安の料金設定や特別料金を設けてくるので、 単価が大幅に悪化する懸念がある。
		旅行代理店（経営者）	・日中関係の状況が非常に不安定なので、これからもっと悪 くなる。
		旅行代理店（副支店長）	・中国の諸問題と万博の終了で中国への集客が落ち込み始め ている。国内旅行についても円高が年末年始の旅行や宿泊に 大きな影響を与える。
		ゴルフ場（従業員）	・予約数が前年より少ない。
		ゴルフ場（業務担当）	・2、3か月前からずっと前年割れの状況が続いており、引 き合いについても単価が低ければ反応があるが、なかなか反 応が無い状況である。入場者はあっても、余分な買物はなか なかせず、単価が上がらない状態である。コンペの引き合い はあるが、金額にとられることが多くなっている。今後前年 比まで行くかどうか難しい状況になっている。
		競輪場（職員）	・全国展開している記念競輪等の売上減少に歯止めが掛かっ ていない。
		美容室（経営者）	・これから先、発表会、パーマや着付の講習、と努力して客 のニーズを取り込むが、新しいヘアファッションを提案して も客はあまり関心を示さず、低料金のカットアンドブローば かりの客が目につく状況である。
		設計事務所（所長）	・今のところ、景気悪化の要因はあっても、浮上の材料は何 も見いだせない。
		住宅販売会社（従業員）	・デフレの一層の進展により、物の価格が低下傾向にある 中、別荘のような高額な品物はますます売れにくくなると予 想される。
	悪くなる	コンビニ（経営者）	・今月は増税によるたばこの買いためで売上と客単価が上 がったが、今後は一気にたばこが売れなくなり、どんどん売 上が下がり、悪くなる。
		コンビニ（店長）	・9月前半は残暑とたばこ増税前のまとめ買いで、客数、売 上共に大幅増加となったが、気温が下落した中旬以降は客数 が前年並みに落ち込んだ。来月はたばこ増税の反動も大きく 出ると思われるので、2～3か月後の見通しは大変暗い。
		衣料品専門店（経営者）	・一気に冬物に移行できれば良いのだが、あまり期待は出来 ない。
		乗用車販売店（販売担当）	・補助金が終わり、これから明るくなる具体策がないので悪 くなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・補助金終了の反響が上期決算の9月より顕著に表れてお り、先行きが全く見えなくなっている。
		スナック（経営者）	・生活防衛をしている中で、外でお酒を飲む余裕のある人は いなくなるかもしれない。
		旅行代理店（副支店長）	・今回の尖閣諸島問題によって、海外から日本への旅行客に 関わる業界は相当な打撃を受けることが想像に難くない。
		通信会社（経営者）	・受注だけでなく見積り依頼も非常に停滞している状況で、数 か月での改善は考えられない。このままでは地方零細企業は 生き残れない。
企業 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		食料品製造業（営業統括）	・B級グルメの鳥モツ煮が日本一となったため、県外からの 来客も多くなっており、ワインの消費もそれにつれて、増加 するものと期待が持てる。
		一般機械器具製造業（経営者）	・自動車部品は現状維持で推移するが、建設機械部品は4% くらいの上昇でいく。
		一般機械器具製造業（経営者）	・中国向け建設機械部品の増産計画、ハイブリッドカー用部 品の増産計画、また、他社で生産能力オーバーした仕事のス ポット応援の対応等があり、現状より仕事量は増加する見込 である。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・業界の本場生産地の様子を見に出掛けたところ、現地でも 著しく低迷しており、数か月先の様子も予想すらできない状 態である。
		金属製品製造業（経営者）	・7～8月と仕事量が3か月前より多くなってきた。3月く らいまでは今の状態が続く。

	輸送用機械器具製造業（経営者）	・勝ち組と負け組に分かれており、良い会社は若干上がってきているが、悪い会社はこれから先も受注量、販売量共に増えない状況であり、この状況は変わらない。
	輸送業（営業担当）	・景気的には良い材料は見付けにくいですが、本来の涼しさが戻ってくることにより、季節商材等の物量が今後は増えてくる。前年並みの物量を確保できそうだが、デフレ経済は続いており、運賃コストの見直し等の締め付けも出ているので、利益は全体的に薄くなっている。
	金融業（役員）	・円の上げ止まり感と景気の底打ち感が数多くの取引先経営者から伝えられている。
	広告代理店（営業担当）	・年末に向けて、唯一消費が活発になる季節だが、それに向けた広告宣伝の予定はなかなか立たず、お金をかけずに集客する方法はないか、とまで聞かれる始末である。
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・求人広告は春先よりは増えてきているが、パートの募集が大半で、正社員の募集はほとんど見られない。比較的格安のミニコミ紙の一般広告では、夏までは何とか前年を維持すべく、数千円の細かな集稿が出来たが、今月に入り、その集稿すら難しくなってきた。
	社会保険労務士	・円高の影響が出てきていると話す事業所もちらほらあるが、大半の事業所は今の状況がしばらく続くと考えている。
やや悪くなる	食料品製造業（製造担当）	・中国の輸出関連の影響が納入単価に反映してくると思われる。周りでは物が動いていないという話と、単価が低いので売上がつながらないという話を聞いているので、円高とも併せ、良い状況になるとは言い難い。
	化学工業（経営者）	・メイン商品の在庫が減らないため、製造ラインがほとんど動いていない。派生的な仕事で人が遊ばないようにしているが、売上アップにはなかなかつながらない。
	電気機械器具製造業（経営者）	・3年も続けてやっていた仕事が、10月から全量中国生産に変わってしまった。今している国内の仕事がどんどん中国にシフトしていくのかと、これから先行きが心配である。
	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・国の予算等がはっきりしないため、こちらが当てにしている担当部署は、新規予算の様子見をしているのではと心配している。
	金融業（経営企画担当）	・観光地において、外国人、特に中国人相手のホテル、旅館で尖閣諸島問題の影響から、多少ではあるがキャンセルが始めている。
	金融業（調査担当）	・エコカー補助金の終了、円高の影響、レアアースの影響がある。
	金融業（総務担当）	・たばこ特需の反動が見込まれる、経費節減で受注の頻度が下がるかもしれない、といった取引先の話がある。
	不動産業（経営者）	・将来性が見えなければ頑張ろう、という気にならない。
	不動産業（営業担当）	・9月時点では場所によってはそこそこ稼働していたが、今後は、円高や補助金施策の終了、たばこの値上げ等、消費者には厳しい状況もあり、購買を通じて企業にとっての厳しい状況にもつながら。ビジネスホテルとしては、企業の状態が厳しくなると経費削減により厳しい状況が続くこととなる。
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・情報化投資の抑制傾向は強く、価格も抑えられ、厳しい状況が続く。
悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・前年にはあった仕事が減ったり、単価が下がったりしている。
	電気機械器具製造業（経営者）	・周辺地域での景況感はますます厳しくなっていくようで、同業、異業種の経営者の会合においても悪くなる話ばかりが耳に入る。
	電気機械器具製造業（経営者）	・生産量が落ち始めており、今後の受注もはっきりしない状況なので、非常に不安である。
	輸送用機械器具製造業（総務担当）	・主力メーカーの国内販売はエコカー補助金に伴って、10月は16%の減産調整に入り、コストダウンの要請もあることから、減収減益傾向となる。今後は、輸出にシフトしていきだるうが、はっきりと見通しづらい状態になってきている。
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・売上が低迷している中、倒産する問屋が出てきており、不安が募る。通常9月は売上が上向く月だが、前年を割り、先行きに不安が残る。
	建設業（総務担当）	・相変わらず同額によるくじ引き状態が続いているので、神頼み以外の何でもない。今後確実に受注につながるものを見付けなければならないが、それがまだ確立出来ていない。
	経営コンサルタント	・一部の下請製造業などの業況で、足踏みから後退気味のところがあり、内需関連、外需関連共に受注、売上の見通しは一段と厳しくなっている。

雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（管理担当）	・営業アポイントが増え、契約の可能性が増した。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・営業で得意先を回っているが、どこもあまり仕事が無いようである。
		人材派遣会社（経営者）	・8月までの家電の伸びとは反するところで、秋冬物の暖房器具などが同じように伸びてくる。自動車関連の部品、電機、電子といったところは不透明感があるが同じくらいに推移していく。
		職業安定所（職員）	・円高の影響により海外輸出の鈍化や、エコカー補助金終了に伴い、生産が減速する。
		職業安定所（職員）	・雇用調整助成金は、活用人数、活用日数は減少傾向にあるものの、今後の活用相談が出てきている。
		職業安定所（職員）	・円高による業務への影響が出ている企業は今のところ少ないが、今後の展開における深刻化を心配する声も聞かれ、従業員採用に向けての企業側の意欲面は厳しい。
		学校〔専門学校〕（副校長）	・本年度の就職試験の傾向では、募集人員に満たなくても会社に合わない場合は不採用としている。職種を問わず一定の能力が備わっていなければ就職は非常に厳しい。
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（経営者）	・円高の影響で、輸出関係企業は厳しいなか、雇用の面でもより慎重になり、情勢は今後、更に厳しくなる。
		職業安定所（職員）	・派遣求人が減少気味で、製造業の新規派遣契約も取れていないのか、製造関係での派遣大量求人が出ていない。また、製造業事業所からもかなり不安要素があると聞いている。
職業安定所（職員）		・管内企業の状況を見ると、今現在では円高の影響はさほど出ていないが、これから先は確実に円高の影響で生産が減少すると答えている企業が多く、求人数が減少する傾向にあるので、それに伴い、就職者数も減少する。	
民間職業紹介機関（経営者）		・円高懸念、自動車関連の減速から、先行き不安が回復基調に水を差し、中小企業は残業規制、派遣社員の契約終了を始めている。	
悪くなる			